

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

ふりがな		ひらお ゆき		
氏名		平尾由希		
所属		株式会社FOODSNOW		
役職		代表取締役		
活動エリア		全国		
連絡先	住所	〒		
	電話番号			
	メールアドレス	contact@foodsnow.jp		
キャッチコピー		地域をブランディングし、食のストーリーをつなぐ。FOODSNOWは“地域のおいしいを形にする”お手伝いをします。		
自己PR		<p>“All Foods have the own Stories” 「すべての食に物語がある」をモットーに、フードコーディネーター・6次産業化プロデューサーとして、地域の食や文化を活かした事業デザインだけでなく、レシピ・メニュー開発からオペレーション構築、製造フロー制作、各種販促物のデザイン制作などの実務まで、きめ細かに“地域のおいしいを形にする”お手伝いをしています。 地域の食のメニュー化、商品化はもちろん、食周りの地場産業商品(器・カトラリー・調理器具・調理家電)の開発や、地域全体の6次産業化(レシピ制作や撮影フードコーディネーター)のほか、イベント企画運営、パッケージデザインなど、皆さまのご要望に応じて幅広くお手伝いいたします。</p>		
関連ホームページ		名称		アドレス
		LOCAL BRANDING&DESIGN FOODSNOW		http://foodsnow.jp

2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	<p><経歴></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆お茶の水女子大学 生活科学部 人間生活学科 卒業 ◆NHK長崎放送局・NHK報道局テレビニュース部キャスターを経て独立 ◆株式会社FOODSNOWを設立 代表取締役に就任 <p>2025.2.28現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆日本米粉協会理事(設立～2021) ◆長崎県6次産業化プランナー(2019～)/日本橋長崎館商品選定委員・運営委員(2016～)/平戸市6次産業化アドバイザー(2019～) ◆総務省 過疎地域自立活性化優良事例表彰委員(2012～2023) ◆農林水産省 農泊専門家登録(2022～) ◆ふるさと財団地域再生マネージャー登録(2022～) ◆総務省 地域力創造アドバイザー(2023～) <p><受賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和3年 グッドデザインアワード2021 地域の取り組み部門受賞(長崎県波佐見町地域内循環商品) ◆令和3年 長崎デザインアワード2021(波佐見陶箱クッキー) ◆令和4年 サステナアワード2022 消費者庁長官賞受賞(長崎県波佐見町の地域内循環の取り組み) ◆令和4年 長崎県特産品新作品展 手みやげ大賞受賞(波佐見陶箱クッキー) ◆令和5年 日本農業賞 食の架け橋部門優秀賞(長崎県波佐見町の地域内循環の取り組み) ◆令和5年 総務省ふるさとづくり大賞優秀賞総務大臣賞(長崎県波佐見町の地域内循環の取り組み) ◆令和6年 長崎県特産品新作品展 菓子・スイーツ部門最優秀賞(波佐見陶箱ボン菓子ショコラ)
--------	---

3. 取組分野

観光	()
移住・定住・関係人口	()
● 農林水産業	(農林水産品の企画商品開発・ブランド化、飲食店(道の駅/直売所/企業)のレシピ・メニュー開発、各種デザイン制作業務)
起業支援	()
まちなか再生	()
集落再生	()
環境	()
● その他	(地域の食のビジネス化を通じた過疎地域・限界集落の振興)

4. ふるさと財団での実績

外部専門家 (活用助成)	2020年～22年度 長崎県波佐見町「地域循環モデル構築をベースとした地域価値創造事業」 2023年度～ 宮城県栗原市「地球をでっかく遊ぼう！環境にやさしいアドベンチャートラベルと食の推進事業」 2024年度～ 宮崎県木城町「中之又地区再生事業」
-----------------	---

5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】 (1)事業名 : 波佐見焼の石膏型をめぐる地域内循環プロジェクト (2)対象地 : 長崎県 波佐見町 (3)事業目的: 全国シェア17%を誇るやきものの産地、長崎県波佐見町の長年の課題である、作陶過程で排出される石膏型の処分問題の解決。 (4)事業内容: 廃石膏の安定的な排出先の確保や排出に係る料金体系の見直し、事業者の意識醸成などを推進するとともに、リサイクルの取り組みが波佐見町の地域ブランドの高付加価値化につながることを証明するためのモデルとして、お土産品(6次産業化商品)の開発・販売・PRを実施することでエンカール消費へのアプローチも行いながら、石膏型のアップサイクルの可能性を広げ、廃石膏を中心とした地域内循環の体系を構築する。 (5)事業による成果: 波佐見町を代表するような食のお土産物開発と石膏型リサイクル問題を繋ぎ合わせることで2つの課題の解決を図った。波佐見町の休耕田にアップサイクルした石膏型由来の肥料を散布、米粉専用米の栽培を行い、最新式の湿式気流粉碎機で米粉に製粉後、地域の加工場の農家のおかあさん方が地元の食材と組み合わせたクッキーに加工し、波佐見焼のやきものの箱「陶箱」に詰め合わせた「波佐見陶箱クッキー」が大ヒット。稼げる地域内循環の仕組みを確立することでリサイクルに対する地域の意識を変えることに貢献した。石膏型由来の肥料を使用した食用米「八三三米」が誕生し、食用米地域内循環第二弾の企画商品「八三三米くらわんかセット」、第三弾企画商品「波佐見陶箱ボン菓子ショコラ」は、数々のコンテストで受賞し、リサイクルの取り組みを牽引する企画に成長した。一連の地域内循環の取り組みは、総務省「ふるさとづくり大賞」優秀賞(総務大臣賞)、農水省「日本農業賞」食の架け橋部門優秀賞、グッドデザイン賞、「サステナアワード」消費者庁長官賞などを受賞。</p> <p>【取組事例②】 (1)事業名 : ひらど新鮮市場「海の見えるごはん屋」開業プロジェクト (2)対象地 : 長崎県平戸市 (3)事業目的: 平戸市の農事組合法人が経営する農産物直売所「ひらど新鮮市場」において開業を目指す飲食店のメニュー開発等支援。 (4)事業内容: スタッフ全員が飲食店未経験だったため、地域食材や文化、歴史を最大限に生かしたコンセプトメイキングから支援を行い、メニュー構築から試作・試食、調理オペレーションを確立。使用する器も同じ長崎県の波佐見焼を使用し、地元産米を羽釜で炊いて提供、料理の盛り付けなども徹底的にこだわった。また、平戸食材のおいしさを伝える手段として、料理撮影・コーディネートをはじめ、メニューブック制作、HPの制作支援も行った。 (5)事業による成果: 2023年3月のオープン以来、連日行列ができる店舗として大人気。様々な雑誌、全国放送番組などでも紹介され、農産物直売所の直営飲食店として全国的な知名度を上げている。</p> <p>【取組事例③】 (1)事業名 : 地域経営会社が経営する飲食店の開業と商品開発支援 (2)対象地 : 山口県長門市俵山 (3)事業目的: 地域経営会社の収益の柱となる飲食店の開業と6次産業化支援 (4)事業内容: 山口県長門市の南西部に位置する俵山地区は、昭和の時代の名残を残す風情あふれる名湯「俵山温泉」を中心に、周辺を農山村集落が取り囲むのどかな里。過疎地域として経済活動の縮小や地域コミュニティ機能の低下などの諸課題に対し、地域資源を見直し、地元で根ざして地域を運営する地域経営会社を作って、農水産物やその加工品、温泉などの地域固有の資源を活用し、地域に活力を取り戻すための事業。地区の空き店舗の開業支援(コンセプトメイキング、メニュー開発等)。 (5)事業による成果: 2022年、俵山の食の魅力の再発見に繋げてもらいたいと、冊子「たべさん俵山」を制作・発行。その後、俵山地区に少なくなった飲食業を復活させようと、空き店舗を開業するためのコンセプトメイキングやメニュー開発を行い、農作物への被害が深刻な野生鳥獣(鹿、猪)を活用し、地元で伝わる「幻のそば」を中心メニューに据えた「食べ山」をオープン。人手不足から夕食を出すことができなくなった周辺の温泉宿の宿泊客をはじめ、湯治に訪れる客などの大切な飲食の場となっている、また、猪肉と地元産の米味噌、食材を使用した「俵山しし汁フリーズドライ」、鹿肉の「俵山鹿肉100%炭火ハンバーグ」、在来種の柑橘ゆずきちを使用した「ゆずきち塩はんす」などを企画開発。中でも俵山しし汁フリーズドライは、物産展でも引っ張りだこの人気商品になった。</p> <p>【取組事例④】 (1)事業名 : 地球をでっかく遊ぼう アドベンチャートラベルと食の推進事業 (2)対象地 : 宮城県栗原市 (3)事業目的: 地域の食資源のブラッシュアップと食の商品開発等を通じた観光振興と、観光関連事業者、行政間の連携強化。 (4)事業内容: 栗原市は、豊富に点在する自然・観光資源を活用した体験型コンテンツの提供などを行う観光関連団体の活動が活発である一方で、観光ハイシーズンにおけるオーバーユース、観光客の宿泊率の低迷等の諸課題に対し、地域おこし協力隊や観光庁「広域周遊観光促進のための専門家派遣事業」等を活用し、コンテンツ造成や人材育成などに取り組んでいる。地域の食資源のブラッシュアップと食の商品開発等を通じて、観光振興(アドベンチャートラベル)と、観光関連事業者、行政間の連携強化を図った。 (5)事業による成果: 農家の団体「ファーマーズプロジェクト」と「くりはらツーリズムネットワーク」のコラボアウトドア商品、地元の餅食文化を生かした「しんこもちぼんぼん えごまるこ」「しんこもちぼんぼん 川口納豆」を企画開発、デザイン支援。この商品は、新東北土産物コンテストで入賞した。トまた、アウトドアでもインドアでも楽しめる商品「くりはらサムギョプサル」は、「ファーマーズプロジェクト」と地元事業者「ダイチ」のコラボ商品で、ブランド豚や地元野菜をふんだんに組み合わせた。食に関する仕事を希望し、この事業の中心メンバーとなった地域おこし協力隊の任期後の生業づくりにも繋がった。 現在も栗原市の物産のあり方や認証制度も含めてブラッシュアップを実施しており、各所の連携のあり方を模索しながら地域の食を通じた活性化に取り組んでいる。</p> <p>◆島根県益田市「中世の食」450年記念事業「歴史」飲食店メニュー化支援/歴史弁当開発支援(2017年～) ◆長崎県波佐見町「もてなす波佐見食」/6次産業化・廃石膏の農業利用支援/「陶箱クッキー」地域内循環プロジェクトデザイン(2017年～) ◆新潟県「米粉商品導入促進事業」首都圏実需会に対するメニュー開発支援(2018) ◆長崎県平戸市「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 世界文化遺産登録記念」お土産物開発支援(2019年) ◆山口県長門市俵山「食べ山」デザイン制作、地域経営会社の飲食店メニュー開発・「しし汁フリーズドライ」etc.商品開発支援(2020年～) ◆長崎県佐世保市 社会福祉法人の農福連携事業「にんにくプラウトの水耕栽培とブランド化」支援(2020年～) ◆宮城県栗原市 農泊推進協議会の事業支援(農泊専門家派遣)、宿泊事業者の経営力強化支援(観光庁スペシャリスト派遣) 栗原アドベンチャーツーリズム事業 看板商品開発支援(2022～)</p>
---------	--